

「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」(科学日文Ⅱ)

108 年度第二学期

2020 年 03 月 04 日

1 この講義の特徴

- 科学雑誌 “Newton” の記事を読む。
 - この講義では、科学の内容の文章を読んで、日本語を学ぶ。
 - 今学期は、基本的に、毎週 8 ページの記事を読む。
 - 内容は、物理、天文、化学、生物、地球科学、計算機科学など。
 - 科学に興味がある人にお薦めする。
 - 日本語は学習したいけれど、科学は嫌いだという人は受講しない方がよい。
 - 初心者向けではない。中級者以上向け。
- 教室では基本的に日本語だけを使う。
 - 日本語で質問するのが難しい場合には、中国語で質問してもよい。
- 教室では会話を重視する。
 - 教室では積極的に日本語を使うこと。
 - 最低限、毎週、一回は発言すること。

2 成績

- 点数配分
 - 宿題: 50%
 - ▷ 5 点 × 10 回
 - ▷ 指定する単語を使って作文をする課題と、文章を読んだ感想を書く課題。
 - ▷ 宿題の〆切は、配布から三週間後とする。
 - ▷ 宿題の草稿を添削してほしい人は、〆切の一週間前までに申し出ること。
 - ▷ 1 日から 7 日の提出の遅れについては 1 点の減点とします。8 日から 14 日の提出の遅れがあれば、2 点の減点とします。.....
 - ▷ 提出された宿題は、次の週に返却します。誤りがあれば、訂正して、返却します。
 - ▷ 返却された宿題をよく見て、どんな問題があったのか確認すること。
 - 期末試験: 50%
 - ▷ 期末試験の日時: 2020 年 6 月 24 日 17:00 から 18:50
 - ▷ 作文してもらいます。
- 追加の課題の提出
 - 自分の成績が悪そうと思ったら、自発的に追加の課題を提出すること。追加の課題の内容は自分で考えること。
 - 追加の課題の提出は、2020 年 6 月 30 日 15:00 まで受け付ける。

3 出席

- 語学の講義なので、受講する人は毎週必ず出席すること。
- 二時間の講義中に、誰が出席していて、誰が欠席しているかは分かるので、出欠を記録しておきます。
- やむを得ない理由で欠席した人は、次の週に口頭で申し出ること。
 - 病気だったのなら、病院での支払いの際にもらった領収書など、証明するものを持参すること。
- 合理的な理由のない欠席があれば、一回の欠席につき 10 点の減点とします。

4 聴講を希望する人

- 受講ではなく、聴講を希望する人がいたら、今日、教室で、その旨、申し出ること。
 - 来週からの資料の準備のために人数を把握する必要があります。
- 聴講する人も、毎回必ず出席し、宿題を提出すること。学期末には試験も受けること。

5 その他の注意事項

- 一年生、二年生、三年生の学生で、16 単位の講義しか受講するつもりがない人は、この講義を受講しないこと。四年生の場合、9 単位しか受講するつもりがない人は、この講義を受講しないこと。五年生以上の学生の場合、一つの講義しか受講するつもりがない人はこの講義を受講しないこと。
 - 途中で、受講を取り止めにしたくなる可能性もあります。規定ギリギリではなく、余裕を持って受講すること。以前に、お母さんが日本人だという大学一年生の学生がいました。その学生は、日本語が得意だったせいか、16 単位ちょうどしか履修届を出していませんでした。しかし、科学が苦手だったので、学期の途中で受講を取り止めにしました。しかし、一般の方法で受講を止めると、退学になってしまうので、学務長に「日本語の授業のはずなのに、科学についてばかり教えているひどい講義だ」と訴えて特例として認めてもらっていました。このようなことがないようしてください。
- この講義を受講すると、毎週、宿題をこなさなくてはなりません。苦勞せずに単位を取りたい人は、別の講義を探した方がよいです。
 - この講義は、日本語での会話や作文の能力を向上させるためには努力を惜しまない人に勧めます。
- この講義を受講する人には、普段から、日本語のテレビ番組を見たり、日本語のラジオ番組を聴いたりすることをお勧めします。
 - 日本語が母国語ではない人向けの NHK のニュースがお勧めです。
 - 他にも、radiko でラジオ番組を聴いたり、tver でテレビ番組を見るとよいでしょう。
- 講義が終わった後、その週のうちに、寮や自宅で復習することが求められます。
 - 配布された文章を自分で読んでみる。
 - 初めて見る単語や、意味を忘れてしまった単語があれば、その意味を調べ、用法を確認すること。
 - 日本語での読み方が分からない漢字があれば、読み方を調べる。
 - 文章の内容がきちんと理解できたかどうか確認し、よく分からない部分があれば、もう一度読んでみる。それでも分からなければ、質問しに来ること。
- 以前に、「二回の卒業旅行を計画しています。合計で一ヶ月間、大学にいません。この日本語の授業も休みます。」と言った学生がいました。自分の言っていることが、一般的な社会常識に照らして受け入れられるものなのか、よく考えてから話をしに来てください。